

城東支部報

キャプテン宣言、再び

城東支部支部長 田中 秀樹



今から四年前に初めて支部長を引き受けた時の気持ちは、「順番だからやらなきゃなあ」というのが本音だった。その二年前に

も当時の小林支部長に「次を頼むよ」といつてもらったが、自分に自信もないし断り、結果的に小林さんに四年間も支部をまとめてもらった。その後やっと引き受けた時も、自分の気持ちにあるのはただ「城東支部が好きだ」とっただけ。そして、引き受けたか

らには頑張らなきゃって自分自身に対するプレッシャー。初めての支部役員会で「支部長って柄じゃないからキャプテンって呼んで」って言ったのもある意味自信のなきの表れ。でもそれが変わったのは、地域担当理事（支部長）として初めての東

発行所
東京グラフィックス城東支部
発行責任者 秀樹
城東支部支部長 田中 秀樹
東京部台東区上野7-10-12
Tel. 03-3844-0068
制作協力：菅原印刷
ご意見・ご感想は
fuji-p@ictv.ne.jp

第四十四期

城東支部総会



今年の城東支部総会は、四月二十一日～二十二日の一泊で行われました。

特急レッドアロー号にて西武池袋から八十分、西武秩父駅に到着し、旅館の送迎バスで会場の谷津川館へ。すぐそばに秩父私所もあり、しだれ桜も満開で、趣のあるロケーションでした。

到着後すぐに会議室にて総会を開催。今年本部から谷副会長にご参加いただきました。四十三期の行事報告、会計報告が承認され、菅野支部長か



ら私田中にバトンタッチ。四十四期の行事計画、収支予算、役員改選、慶弔基金金改定、名誉会員推薦の各案について討議いただき、気がつけば二時間が経過していました。

城東支部総会はいつも参加者の真剣な議論が交わされます。これは参加者が支部の事を気にかけていくれる事の証です。今後とも貴重なご意見をいただきました

いと思います。総会後は、しばし温泉にて疲れを癒し、大広間にて宴会。こちらもいつものよ

第二回 城東支部ゴルフ同好会コンペ

ゴルフ同好会会長 小林 盛夫

ラの理事会に出席してから。一國一城の主が集まっている会議なのに、無駄に長く議論する時間が短いなあ、つてのが実感。二回目からは素直に思った事を提案するようにした。城東支部みんなの代表として出席していると思つたら気後れしなかった。プレッ

チャーもなくなった。そして今、事業担当理事を経てまた支部長に「なった」。会社の事情も私的な事情もあり、今回で理事は降りたいというのが正直な気持ちだったが、結果的に引受ける事に「なった」。最後は自分の意志で「なった」訳だからまた頑張る。今回も初めての支部運営会議で「支部長って柄じゃないからキャプテンって呼んで」って言うけど、今度は自信がないからじゃないよ。ただ「キャプテン」が好きなのだ。

今年度から「城東支部運営会議」を原則二ヶ月に一度開催いたします。城東支部会長の経営者社員の方、どなたでもご参加いただけます。広く支部の運営に対するご意見をお聞かせいただくと共に、会員同士の懇親の輪を広げていきたいと思います。城東支部は真面目で楽しいメンバーが集まっています。懇談いただだけでも結構ですので、どうぞお気軽にご参加下さい。



昨年、第一回コンペを開催し再生した城東支部ゴルフ同好会は、去る五月十九日(土)に第二回コンペを栃木県大田原市のゴルフ倶楽部「ゴルデンウッド」にて開催いたしました。会場が遠い所だったためか参加者は五名と少人数でしたが、逆にほとんどの方が賞を手に入れた様子でした。優勝は(株)

ゴルフ同好会会長 小林 盛夫

「新ペリア方式」が花盛りですが、城東支部は世の中の流れに逆らつて、「ペリア方式」を採用していきま。新ペリア方式ではローハンディー者が有利になつてしまふ優勝者が何人かの上手い方々に限られてしまふ。ペリア方式は誰にチャンスがあるか分かりませんが、初心者でも優勝の可能性がります。親睦という意味からも皆さんに等しくチャンスの有るペリア方式を採用して



いきますので、優勝を目指して奮って参加して頂きますようお願いいたします。今後二年二回のコンペ開催を軸に、有志による合宿等も考えています。支部員の一人でも多くの方々の参加を頂き、ゴルフ同好会の活動が活発化し、皆さんの要望でコンペの開催回数が自然な形で増えていくことを期待しています。

私の休日

株式会社興栄社 代表取締役社長 菅野 潔

テント生活の勧め
柔らかな土、新鮮な空気に風の音、そして鳥のさえずり。家の庭に張ったテントの中は別世界だ。
二十五年程前に購入した厳冬期使用の大切なゴアテックスドーム型テントは、本当はヒマラヤのガネッシュ山(当時)は処女峰だった)に行く予定だった。しかし、その計画が中止になり、結局、穂高岳の瀧沢槍ヶ岳の槍沢等国内のみで利用をしており、最近ではもっぱら庭に張って休日の夜を楽しんでいます。
このテントでの一番の思い出は、友人二人で大雨の中登った槍沢で、夜テントの中で酸欠になったことだ。気持ちよかつた！ 苦しくもなく、徐々に一回の呼吸が長くなり、靴紐を結ぶ知恵がなくなり、何でだろう？ 何でだろう？ と思ひ、通気口に手を入れるとう



スーッと入ってきた新鮮な空気。あく酸欠だったのか！と気付いた。同じ経験はしたくないが、でも気持ちよかつた。
色々な地面に張られたテントが、今庭に張られている。目の前に自分の家があるのだけれど、テントの中で目をつぶると当時の場所を思い出す。高校生になった息子も、テントで寝るぞ！ と言うと当たり前のように顔がほころぶ。今年からは愛犬ミシェルも一緒に。違った環境だから明かりを点けて本を読むことすら新鮮で、そして、うとうと眠くなる。多分土や空気が鳥が開放感を与えてくれるのだろうと思うが、これ程熟睡できることは自分にとつては他に無いようです。
近所の家からは丸見えです。変な親子だなくと思われていることでしょう。良いのです、実際に変な親子なのですから。

共済会

潮干狩り



今年も共済会主催の潮干狩りが六月二日富津海岸潮干狩りモードの谷口さん、ハマグリ捕獲に命を懸ける郡司さんら多数が参加しました。
潮干狩りの後は、富津公園キャンプ場にて城東支部主催バーベキュー大会を行い、サーバー持ち込みによる冷たくておいしいビール、足一本まるごと吊して食べるハム、サザエや伊勢エビ、高級魚などの豪華海鮮焼きなどをいただきました。参加者全員で楽しいひとときを過ごしました。

翌日は羊山公園の芝桜の丘へ。丁度満開の時期だった事もあり大勢の人出。芝桜を堪能した後は、場所を

移しバーベキュー&いちご狩りと、目もお腹も満たされた一日でした。(レイソル田中記)

菅野 章氏が 東京グラフィックス名誉会員に



去る五月に開催された東京グラフィックスサービス工業会定時総会におきまして、城東支部会員株式会社

城東支部のみならず、当日の運営や前日までの準備を快くお手伝いいただきました。本当にありがとうございました。来年も開催されると思いますので、まだ参加された事のない方もぜひご参加下さい。(レイソル田中記)

